

平成28年度学生ボランティア促進キャンペーンイベント
「今だからできること ～復興の先を見据えて～」
参加団体の募集について

復興庁では、平成24年度から毎年、大学生の方々を中心に、夏休みなどの長期休暇を利用した被災地におけるボランティア活動への参加を呼びかけるキャンペーンを実施しており、平成28年度は「東北の「いま」を知る。東北で「これから」を考える。さあ、共に。」をテーマとしてキャンペーンを展開します。

この一環として、学生ボランティア促進キャンペーンイベント「今だからできること ～復興の先を見据えて～」を開催することとし、このイベントへの参加を希望する団体を下記のとおり募集いたします。

皆様からの多数の応募を心よりお待ちしております。

記

1 開催日時・場所（予定）

日時：平成28年6月12日（日）10:30～17:30

場所：3331 Arts Chiyoda 〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14

<http://www.3331.jp/access/>

2 実施内容（予定）

- ・各団体の活動内容の発表（1団体あたり10分程度。合計1.5時間程度）
- ・東日本大震災からの復興に加え、さらなる東北の活性化に寄与するなど、復興のさらに先を見据えた取組につながるボランティア活動について考えるワークショップ（2時間程度）など

3 募集する団体及び団体数

団体の要件：東日本大震災からの復興支援を目的としたボランティア活動をしている「大学生」で組織される団体。（詳細は、別添「募集要領」を参照。）

団体の数：北海道、東北、関東・甲信越、北陸・東海、近畿、中国・四国、九州・沖縄の各ブロックから、応募状況等に鑑み1～2団体程度（最大で10程度）を想定

※参加に要する交通費については、国の規定に基づき、負担予定。

4 応募方法（詳細については別添「募集要領」を参照）

別添「募集要領」に従い、応募用紙に必要事項を記入の上、期限までに電子メールで次の宛先に送付。

提出期限：平成 28 年 4 月 28 日（木）17:00（必着）

提出先：復興庁ボランティア・公益的民間連携班（i.volunteer@cas.go.jp）あて

5 参加団体の選定

応募団体から提出された応募用紙について復興庁において評価を行い、参加いただく団体を決定いたします。参加していただく団体には、5月中旬頃までにご連絡します。

なお、評価は次の観点から行います。

- ・応募団体のこれまでの活動内容等
 - ・東日本大震災からの復興に関して、今後、ボランティア活動に求められるであろう内容についての考察
 - ・今回のイベントにかける意気込み
- ほか

以上

＜本件に関する問合せ＞

復興庁ボランティア・公益的民間連携班

電話：03-5545-7480

電子メール：i.volunteer@cas.go.jp

**平成 28 年度学生ボランティア促進キャンペーンイベント
「今だからできること ～復興の先を見据えて～」
参加団体募集要領**

1 趣旨・目的

東日本大震災の発生から 5 年が過ぎましたが、被災地でのボランティア活動に対するニーズは依然として存在しています。また、求められるニーズは、復興の進展や生活環境の変化により、細分化・多様化しています。

このような状況を踏まえ、復興庁では、平成 24 年度から毎年、大学生の方々を中心に、夏休みなどの長期休暇を利用した被災地におけるボランティア活動への参加を呼びかけるキャンペーンを実施しており、その一環として、今般、「今だからできること ～復興の先を見据えて～」を開催します。

このイベントは、東日本大震災からの復興のみならず、さらなる東北の活性化に寄与するなど、復興のさらに先を見据えた取組について、大学生を中心とした世代の人たちが考え発信することで、相互の情報交換や連携を促進し、取組の輪を一層広げると共に、より多くの人に被災地の復興について考えていただく機会とすることを目的としています。

2 イベントの概要（予定）**(1) 開催日時・場所**

日時：平成 28 年 6 月 12 日（日）10:30～17:30

場所：3331 Arts Chiyoda 〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14

<http://www.3331.jp/access/>

(2) 実施内容

- ・参加団体の活動内容の発表・交流（1 団体当たり 10 分程度。合計 1.5 時間程度）
- ・参加団体からの活動内容の発表等を受け、「東日本大震災からの復興に加え、さらなる東北の活性化に寄与するなど、その先を見据えた取組につながるボランティア活動について」考えるワークショップ（2 時間程度）

など

3 募集する団体の要件及び当日の参加団体数**(1) 募集する団体の要件**

次の要件をすべて満たす団体を募集します。

- ・東日本大震災からの復興支援を目的としたボランティア活動をしている「大学生」で組織される団体。なお、「大学生」には、専門学校生も含まれます。
- ・大学の教員又は職員の推薦が得られる団体。複数校の学生が参加する団体については、当該団体の代表者（学生）が所属する大学の教員又は職員の推薦が得られる団体（専門学校生のみによって構成される団体については、専門学校の教職員の推薦が得られる団体）。

(2) 当日の参加団体数（予定）

全国を7ブロック（北海道、東北、関東・甲信越、北陸・東海、近畿、中国・四国、九州・沖縄）に分け、各ブロックから1～2団体程度（応募状況等に鑑み、最大で10程度）を復興庁において選定します。

各団体からの参加者について、3名分の交通費を、国の規定に基づいて支給（事後精算）します。

4 募集期間

平成28年4月28日（木）17:00 まで

5 応募方法

本実施要領の別紙「応募用紙」に必要事項を記載の上、電子メールにて、上記4の募集期間内に必着で応募ください。応募の際は、次の点にご注意ください。

(1) 応募用紙等の作成

- ① 別紙「応募用紙」（以下、「応募用紙」という）に必要事項を記載してください。また、応募用紙に記載しきれない場合や補足説明が必要な場合には、応募用紙とは別に説明資料を添付してください。
- ② 応募用紙及び説明資料については、すべて電子ファイルとしてください。こちらで読み取れるファイルの形式は次のとおりです。

- PDF ファイル（.pdf）
- JPEG ファイル（.jpg）
- MS-Word ファイル（.doc 又は .docx）
- MS-Excel ファイル（.xls 又は .xlsx）
- MS-Power Point ファイル（.ppt 又は .pptx）

なお、応募用紙の1ページ目には推薦者の押印が必要です。このため、応募の際は、押印されていることが分かるように、応募用紙をスキャナーで読み取る等して、PDF ファイルで送付してください。

(2) 電子メールの送信

- ① メールの件名を「【応募】ボランティアキャンペーンイベント」としてください。
- ② メール本文に、次の内容が分かるように記載してください（様式任意）。
 - ア 応募団体の名称
 - イ 代表者氏名（ふりがな）、学年
 - ウ 代表者の連絡先（電子メール、電話番号）
- ③ 応募用紙及び説明資料のファイルサイズの合計が5MB 未満の場合は、これらのファイルをメールに添付して送付ください。ファイルサイズの合計が5MB 以上になる場合には、メールにはファイルを添付せず、上記(2)②の事項に加え、「5MB 以上の添付ファイルがある」ことをメール本文に記載してください。折り返し、ファイルの送付方法をご連絡します。
- ④ 応募メールは、復興庁ボランティア・公益的民間連携班(i.volunteer@cas.go.jp)あてに送信してください。

6 参加団体の選定

当時参加していただく団体については、主に次のようなポイントを踏まえ、復興庁において選定します。

＜評価のポイント＞

- ・応募団体のこれまでの活動内容と活動結果の分析ができているか
- ・これまでの活動を通じて、東日本大震災の被災地で今後、どのような支援が必要となるかについて考察ができているか
- ・今回のイベントに参加して何を得たいと考えているか。また、得たものを今後、どのように活かしていこうと考えているか
- ・参加するに当たっての意気込み ほか

7 参考：平成 28 年度の学生ボランティア促進キャンペーンのテーマ

東北の「いま」を知る。東北で「これから」を考える。さあ、共に。

このテーマは、平成 27 年 10 月に仙台で開催された「新しい東北フォーラム in 仙台」の一企画として実施されたボランティア・ワールドカフェ「東北からのメッセージ」に参加した東北地方の高校生・大学生が、同世代の人たちに向けて発信するメッセージについて話し合い、取りまとめたものです。

東日本大震災発生から5年を迎えようとしている中で、「改めて東北の現状を知ってほしい」、そして、「この先のことを東北に来て一緒に考えてほしい」という思いが詰まったメッセージです。

8 その他

- ① 応募された資料等は返却しません。
- ② 応募者の連絡先等は、本イベントに関する連絡等に用いるほか、今後、復興庁で大学生等を対象とした催し物を開催する場合などの情報提供に利用させていただきます。それ以外の用途では使用しません。

以上

【問い合わせ先】

復興庁ボランティア・公益的民間連携班

電話：03-5545-7480

電子メール：i.volunteer@cas.go.jp

平成 28 年度学生ボランティア促進キャンペーンイベント
「今だからできること ～復興の先を見据えて～」

応募用紙

平成 28 年度学生ボランティア促進キャンペーンイベント「今だからできること～復興の先を見据えて～」に参加したいので、必要書類を添付の上、応募します。

応募団体名称	
応募団体代表者 ふりがな 所属・氏名	所 属： 氏 名：
応募団体代表者 連絡先	電 話 番 号： 電 子 メ ー ル：
団体の PR (150 字程度で)	
推薦者 所属・氏名	(団体名) が、平成 28 年度学生ボランティア促進キャンペーンイベント「今だからできること～復興の先を見据えて～」への参加を推薦いたします。 推薦者所 属： 氏 名： 連絡先：

印

1 団体の活動について（この項目で3ページ以内にまとめる）

団体の主な 活動内容	団体の活動について、 ・時期 ・場所 ・内容 を記入してください。「1 団体の活動について」で3ページを超えてしまう場合や、補足が必要と思われる場合には、資料を添付してください。
活動の結果 について	団体で活動した結果について記入してください。また、その結果となった要因や背景等についても言及してください。上記同様に、「1 団体の活動について」で3ページを超えてしまう場合や、補足が必要と思われる場合には、資料を添付してください。

2 今後、必要とされる支援について（この項目で1ページにまとめる。）

今後、被災 地で必要と される支援 について	今後被災地で必要とされる支援について、自由に記入してください。ただし、必要と感じている理由を明確にしてください。 補足説明が必要な場合には、資料を添付してください。
---	---

3 イベント参加に際して（この項目で1ページにまとめる。）

イベント 参加に 当たって 期待する こと	今回のイベントに参加するに当たって期待することや、イベントに参加することで得たいと思っていることなどを自由に記入してください。
イベント 参加後の 活動	今回のイベントに参加して得られたものを今後、自身の団体の活動にどのように活かしていこうと考えているかなどを自由に記入してください。